
第3の制服

3226 土屋吏輝

第3の制服作成のきっかけ

令和3年度生徒会長選挙で土屋吏輝(つちやりき)の公約

- ・ 男子の学ラン着用強制

- ・ 女子のリボン着用強制

早急に変えるべきだと主張



校長先生をはじめとした多くの先生方が賛同
制服作成プロジェクトの始動

性的少数者について

また、「僕にはXジェンダーで詰襟着用強制に疑問を抱いている友人がおり、そのような悩みを抱えている人たちのための制服を作りたい」と公約で宣言

LGBTQ+ とは

L→レズビアン

G→ゲイ

B→バイセクシャル

T→トランスジェンダー

Q→クエスチョニング

+…左の5つでは全てのセクシャリティを包括できないということを表しています

MRP(メイキングルールプロジェクト)

9月から本格的に始動→MRP(メイキングルールプロジェクト)発足

特設委員会の1つであるMRPとは、

目標：第3の制服作成（前半）
校則改正（後半）

委員：担当教員、中高生徒会役員、
有志生徒 合計36名

MRP発足→第3の制服導入まで

9月…MRP発足



// …制服業者と打ち合わせ



// …原案①完成



// …有志から意見をもらい、原案③を作成



10月…業者と打ち合わせ

10月…原案③を教職員に説明



11月…業者と打ち合わせ



// …生徒が職員会議で説明



12月 … 有志に第3の制服お披露目会

成果①

○3か月という短期間で第3の制服を完成させた

○学校全体がジェンダー問題に取り組むことができた

○在校生含めおよそ75人が購入した

成果②

- 下野新聞の一面で取り上げられ、Yahoo!ニュースに載る(2000件以上のコメント)
- 平野啓一郎さんや内田良さんがコメントするなど大きな反響を呼んだ

完成した制服



左…Ⅲ型 α 右…Ⅲ型 β



左から…
Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅱ型・Ⅱ型・Ⅲ型 α ・Ⅲ型 β ・Ⅲ型 β

佐野高校の制服

I 型	II 型		III 型 α	III 型 β
				
学ラン	セーラージャケット		スーツジャケット (直線型)	スーツジャケット (曲線型)

抄鳴雷

2021.12.16

近年は小紙の記事もインターネットを通じ全国津々浦々で読むことができる。生徒誰もが性別にと

られず選択可能な「第3の制服」を佐野高と付属中の生徒が考え、来春導入されるとの記事は、瞬く間に200万回以上閲覧された▼寄せられたコメントも2千を超えた。「私服にすればいい」「男子がスカートをはけるのか」といった意見もあった。皆、制服には一家言持っている。さまざまな議論の場となった▼今回何より驚いたのは、生徒たちがよりよい学校にしようと提案し協議を重ね、学校側にも全面協力してスピード決定につながった点だ。自らの学生時代、

ほとんどの人は制服を変えられずとも思いもしなかったのではないかと▼性別で決められた制服を着るのがつらいという生徒がいたのがきっかけになった。7月の生徒会長選挙で公約に掲げた候補が当選し、有志を募って動きだした▼行事の中止が相次いだ昨年のコロナ禍。学校祭だけは開きたいと、やはり両校の生徒が対策を話し合い、学校側に提案して実現にこぎ着けた。生徒が主体的に考え、答えを導き出す素地が育っていたのも背景にある▼学校だけではない。自ら考え、動き、納得の輪を広げられれば社会は変えられる。生徒たちが得たのは第3の制服にとどまらない。自信と、民主主義に対する生きた学びだろう。

スカート、学ランも自由

来年度から佐野高・付属中

「第3の制服」と併せ運用

多様性に配慮した「第3

着用も認める。

の制服」を生徒主体で考案した佐野高・同付属中で23日、来年度からの制服の運用方法が決まった。既存の学ラン、セーラージャケット

新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインで実施された終業式で青柳校

長は「生徒から始まったチャレンジが学校全体を巻き込み、ここまで来た」とたたえた。

式典後、校内に展示された新制服の前に次々と生徒が訪れた。女子生徒の1人は「『かわいい』より『かっこいい』が好きなので、デザインが気に入った」と

トに新制服のジャケットを加え、3種類から自由に選択できるようにする。同日の終業式で、青柳育夫校長が生徒に伝えた。

制服作りは、生徒会長の高校2年土屋吏輝さん(17)の提案で始まり、性別を問わず選択できるジャケットが完成した。体形に合わせて直線型、曲線型の2タイプを用意する。

生徒と学校側が話し合い「どの制服を選ぶ場合でも障壁がないように」と、男子が学ラン、女子がセーラージャケットとの指定もなくし、誰もが選択できるようにした。男子のスカート



「第3の制服」の見本を見るため集まった生徒たち＝23日午前、佐野高

「第3の制服」生徒主体で制作

佐野高、同附属中生が座談会



新制服を囲んで笑顔を見せる生徒会役員たち。左から順に篠原さん、亀田さん、土屋さん、三田さん、丸山さん、恩田さん＝3月下旬、佐野高

性別を問わず誰もが着られる「第3の制服」を、生徒主体で制作した佐野高と同附属中。4月から既存の学ラン、セーラージャケットに加え、スーツタイプが選べるようになった。取り組みの中心となった生徒会役員ら6人に、新制服への思いや舞台裏を聞いた。

「なぜ制服を見直そうと思ったのでしょうか。」
土屋 性別で決められた制服を着るのがつらいという友人の話を聞いたことがきっかけでした。今ある学ランやセーラージャケットを心地よくないと感じている人がいるのではと考え、生徒会長選挙の公約に掲げました。

「土屋さんの公約を聞いてどう感じましたか。」
篠原 性別や性自認に関して知識はありましたが、制服については思い至っていませんでした。自分の中の固定観念を壊してくれた気がしました。

三田 今の制服が当たり前だと思って過ごしてきたので、実現できるのか最初

「誰もが心地よい」模索

挑戦と行動の大切さ実感

佐野高等学校・同附属中学校では、多様性に配慮して、下の4つのタイプの制服を用意しています。全ての生徒は、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの4つの型から自由に選択して購入することになります。

制服のイラスト。Ⅲの型から自由

Ⅰ型	Ⅱ型	Ⅲ型 α	Ⅲ型 β
学ラン	セーラージャケット	スーツジャケット (直線型)	スーツジャケット (曲線型)

は不安もありました。
「制服作りの中で、気付きはありましたか。」
土屋 初めは性的少数者

の人のために制服を作さ
いう考えがどこかであり
した。でも、友人から「
しい制服を着ている人イ
ル」性的少
者」と思われ

座談会出席者

- ・佐野高3年 土屋 吏輝さん(17) Ⅱ生徒会長
- ・篠原 彩絢さん(17) Ⅱ副会長
- ・同2年 亀田 侍子郁さん(16) Ⅱ副会長
- ・同1年 恩田 小春さん(15) Ⅱ中学生徒会長
- ・三田 翔愛さん(15) Ⅱ中学副会長
- ・附属中3年 丸山 凱さん(14) Ⅱ中学副会長

※中学の役職は取材時



第3の制服作成で気づいたこと

- ①当初は、「既存の制服着用強制に悩みを抱えている人のため」に作成する予定だったが、会議を重ねるうちに、その目的を限定してしまうと逆に差別を助長してしまうということに気付き、「全ての人が心地よい学校生活を送れるため」の第3の制服を作成するに方向転換した。

第3の制服作成で気づいたこと

- ②会議中で使用する言葉や、配布する資料の文言など差別的な表現を用いてないかという確認がかなり難しかった。
- ③制服は学校を象徴するものの1つであるため、制服作成の中で「統一感」を考えなくてはいけないことを知った。

MRPの様子①



MRPの様子②



MRPの様子③



最後に

たった3か月間で第3の制服を導入することができたのは、先生方や業者の方々などの協力があったからです。とても貴重な経験をすることができました。

最後に

私はこの先、自分と異なる者へ目を向けることが必要となると思っています。たとえその対象が少数派であったとしても、至極当然なことであると思います。これから多様性社会で生きる私たちが、学校全体でこのような取り組みができたことは価値あるものでした。

佐野高校の取り組みを知り、少しでも多様性理解が
深まっていけばと思います。



ご覧いただきありがとうございました